

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成27年1月】

■調査概要（データ対象期間：平成27年1月1日～1月31日）

- 調査期間：平成27年2月3日～2月23日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送によるアンケート調査
- 回収状況：建設業16企業、製造業20企業、卸売業16企業、小売業29企業
飲食業9企業、サービス36企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計126企業>
- 調査項目：1月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

1. 業況判断

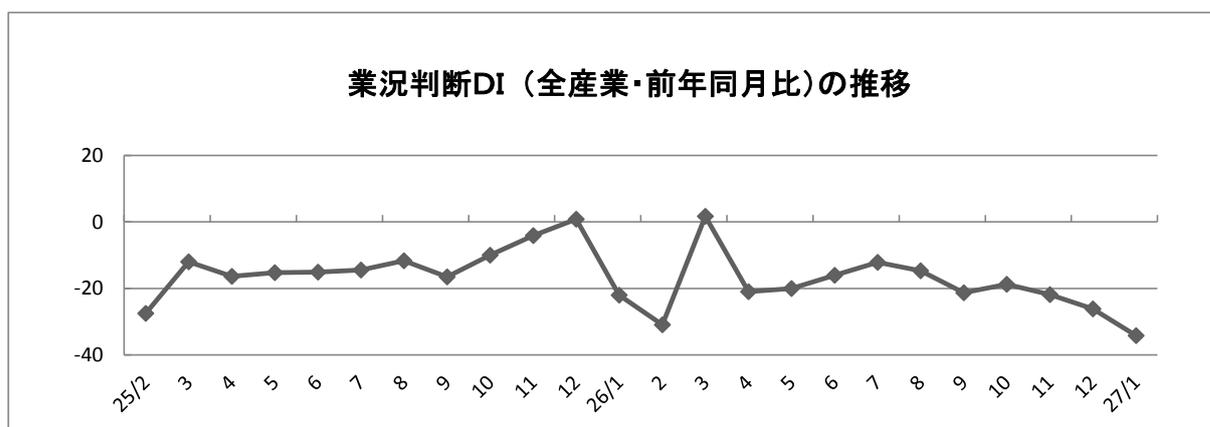
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲26.2）よりマイナス幅が8.0ポイント拡大し、▲34.2となった。業種別では、卸売業、飲食業はマイナス幅が縮小し、サービス業、小売業、製造業、建設業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲32.5）よりマイナス幅が5.6ポイント拡大し▲38.1となった。業種別では、小売業、飲食業はマイナス幅が縮小し、製造業、サービス業、建設業、卸売業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	7.1 (6.3)	51.6 (61.2)	41.3 (32.5)	▲34.2 (▲26.2)	7.1 (4.8)	47.7 (57.9)	45.2 (37.3)	▲38.1 (▲32.5)
建設業	12.5 (11.8)	43.7 (64.7)	43.8 (23.5)	▲31.3 (▲11.7)	0.0 (5.9)	56.2 (58.8)	43.8 (35.3)	▲43.8 (▲29.4)
製造業	15.0 (9.5)	35.0 (61.9)	50.0 (28.6)	▲35.0 (▲19.1)	15.0 (0.0)	35.0 (66.7)	50.0 (33.3)	▲35.0 (▲33.3)
卸売業	12.5 (6.3)	37.5 (43.7)	50.0 (50.0)	▲37.5 (▲43.7)	6.3 (6.3)	37.4 (56.2)	56.3 (37.5)	▲50.0 (▲31.2)
小売業	3.4 (0.0)	44.9 (58.3)	51.7 (41.7)	▲48.3 (▲41.7)	3.4 (0.0)	44.9 (50.0)	51.7 (50.0)	▲48.3 (▲50.0)
飲食業	0.0 (18.2)	88.9 (45.4)	11.1 (36.4)	▲11.1 (▲18.2)	11.1 (18.2)	55.6 (36.3)	33.3 (45.5)	▲22.2 (▲27.3)
サービス業	2.8 (2.7)	66.6 (73.0)	30.6 (24.3)	▲27.8 (▲21.6)	8.3 (5.4)	55.6 (64.9)	36.1 (29.7)	▲27.8 (▲24.3)

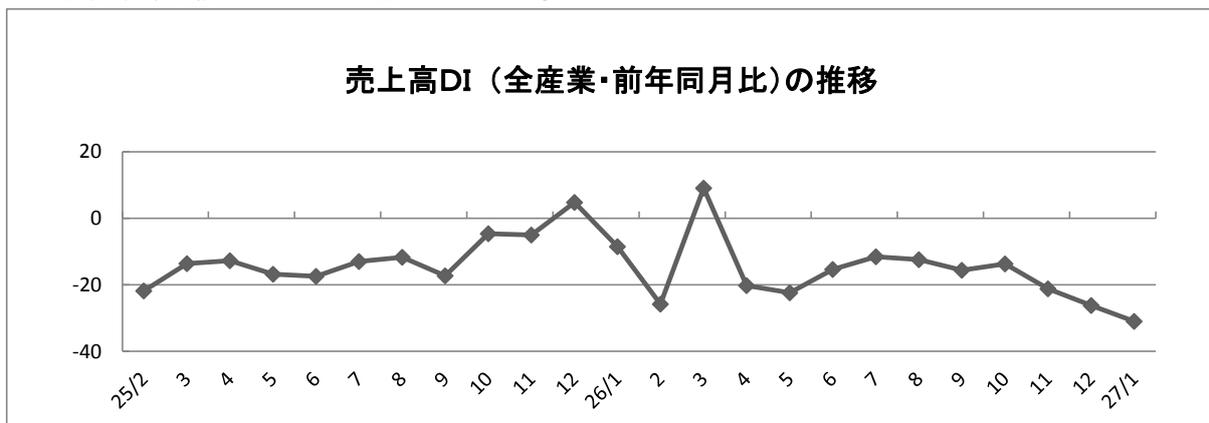
()内は前月データ

※「業種[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲26.2）よりマイナス幅が4.8ポイント拡大し▲31.0となった。業種別に見ると、小売業、サービス業、卸売業はマイナス幅が縮小し、製造業、建設業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

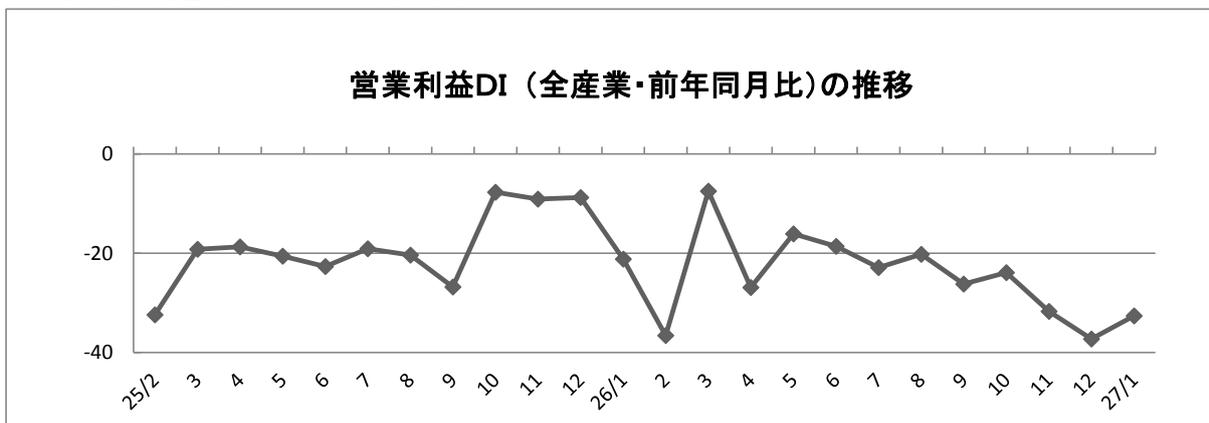


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
全 体	▲ 8.5	▲ 25.8	9.1	▲ 20.2	▲ 22.4	▲ 15.4	▲ 11.5	▲ 12.4	▲ 15.6	▲ 13.7	▲ 21.2	▲ 26.2	▲ 31.0
建設業	▲ 20.0	17.7	33.3	14.3	▲ 23.5	0.0	12.5	5.9	▲ 14.3	▲ 13.4	▲ 6.7	▲ 17.7	▲ 37.5
製造業	12.5	▲ 35.0	0.0	▲ 45.5	▲ 50.0	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 28.6	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 33.3	▲ 19.1	▲ 30.0
卸売業	20.0	▲ 20.0	50.0	▲ 23.5	▲ 25.0	5.9	▲ 12.5	▲ 5.9	0.0	▲ 12.5	▲ 43.8	▲ 31.3	▲ 25.0
小売業	▲ 4.8	▲ 23.8	26.1	▲ 40.9	▲ 38.1	▲ 24.0	▲ 29.2	▲ 7.7	▲ 37.0	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 50.0	▲ 48.3
飲食業	▲ 44.5	▲ 91.7	▲ 45.4	10.0	0.0	▲ 50.0	▲ 10.0	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 30.0	0.0	▲ 22.2
サービス業	▲ 23.5	▲ 22.8	▲ 8.3	▲ 11.7	▲ 2.5	▲ 5.7	▲ 5.8	▲ 10.2	0.0	3.1	▲ 5.0	▲ 24.3	▲ 19.5

3. 営業利益DI（前年同月比）

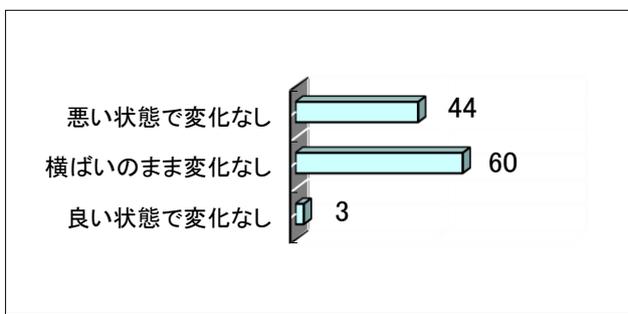
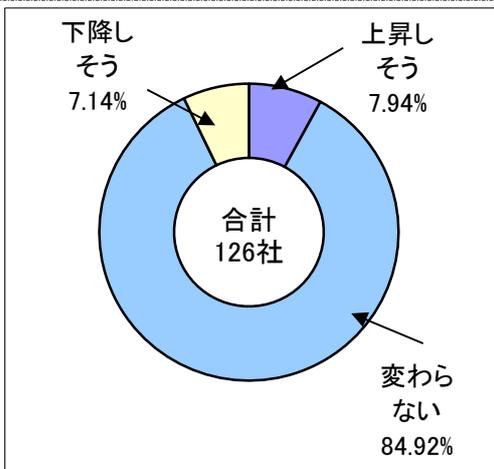
○全産業合計の売上高DIは、前月（▲37.3）よりマイナス幅が4.7ポイント縮小し▲32.6となった。業種別に見ると、飲食業、サービス業、小売業、卸売業はマイナス幅が縮小し、建設業、製造業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
全 体	▲ 21.2	▲ 36.6	▲ 7.5	▲ 26.9	▲ 16.1	▲ 18.6	▲ 22.9	▲ 20.2	▲ 26.2	▲ 23.9	▲ 31.7	▲ 37.3	▲ 32.6
建設業	▲ 53.3	▲ 23.5	▲ 6.7	▲ 21.4	▲ 5.9	▲ 13.4	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 13.4	▲ 35.3	▲ 37.5
製造業	▲ 8.3	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 40.9	▲ 41.6	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 38.1	▲ 26.3	▲ 23.5	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 35.0
卸売業	20.0	▲ 40.0	18.8	▲ 23.6	▲ 31.3	▲ 11.7	▲ 18.7	0.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 56.3	▲ 62.5	▲ 37.5
小売業	▲ 23.9	▲ 28.6	4.4	▲ 40.9	▲ 19.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 40.7	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 34.5
飲食業	▲ 44.5	▲ 100.0	▲ 54.5	0.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 20.0	▲ 44.4	▲ 60.0	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 36.4	▲ 33.3
サービス業	▲ 26.5	▲ 34.4	▲ 11.1	▲ 20.6	2.5	▲ 5.7	▲ 17.1	▲ 17.9	▲ 2.7	▲ 15.1	▲ 20.0	▲ 29.7	▲ 25.0

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



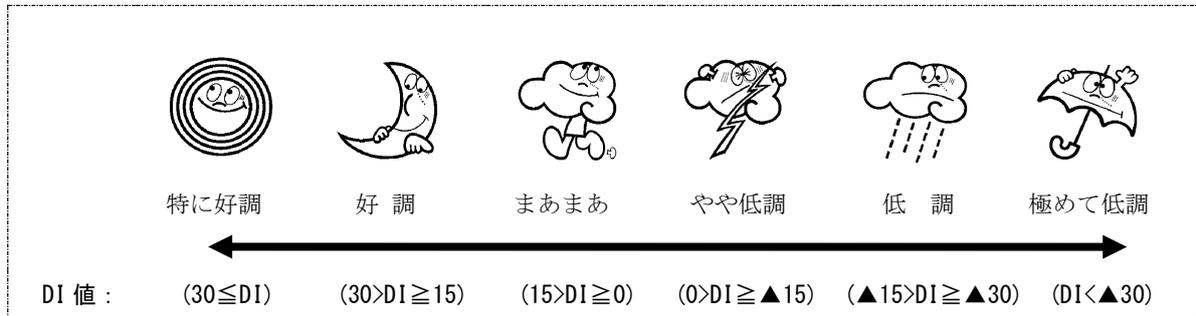
○平成27年2月～平成27年4月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ3.17ポイント増加して7.94%、「下降しそう」が3.97ポイント減少して7.14%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲6.3)、製造業(▲5.0)、卸売業(0)、小売業(6.9)、飲食業(0)、サービス業(2.7)であった。

➡「上昇しそう」では、「春の需要期」「新規製品の立ち上がり」「内需部品、輸出部品の受注が好調」(製造業)、「新年度に向けた需要がありそう」「季節的要因」(小売業)、「春の観光シーズンとなるため」(飲食業)、「3月以降は観光のお客様が動き出す見込み」「年間で一番の繁忙期となるため」「いくつかのプロジェクトが進捗しているため」(サービス業)といった声が寄せられた。

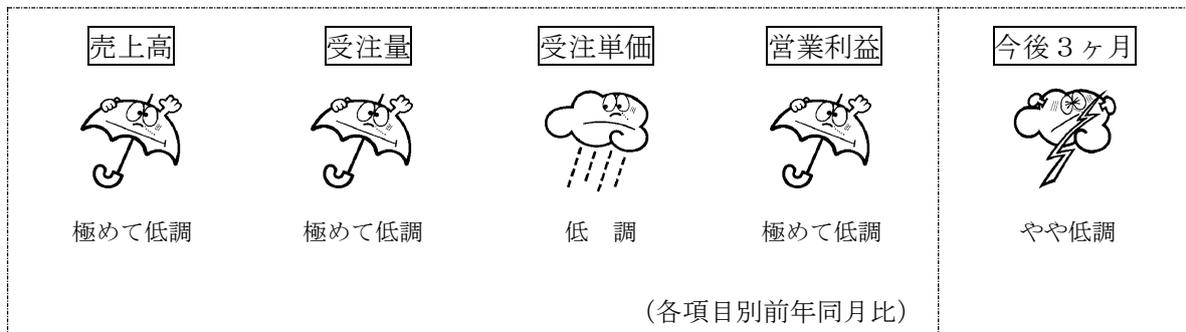
➡「下降しそう」では、「受注量の低下」(製造業)、「イスラム国台頭による海外団体旅行の取消」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI 君の景況判断>



1. 建設業



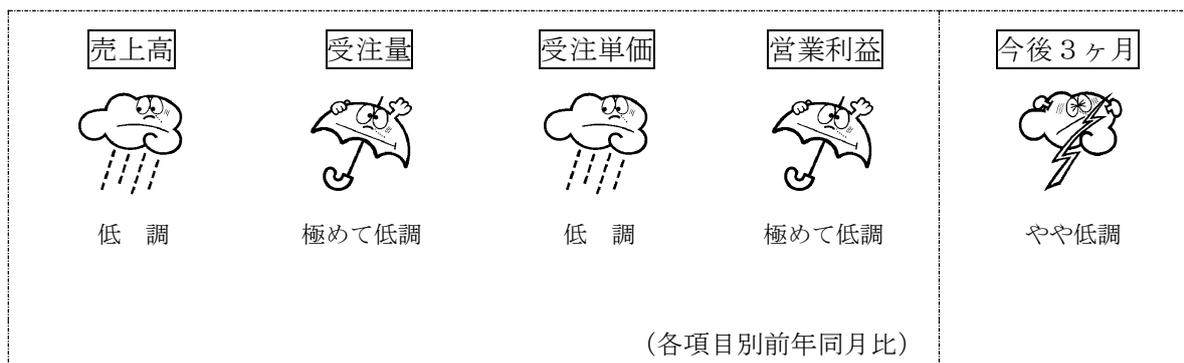
【項目別DIの推移】

	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
売 上 高	▲ 20.0	17.7	33.3	14.3	▲ 23.5	0.0	12.5	5.9	▲ 14.3	▲ 13.4	▲ 6.7	▲ 17.7	▲ 37.5
受 注 量	▲ 46.6	0.0	26.7	▲ 7.2	▲ 29.4	▲ 13.4	6.3	▲ 11.7	▲ 21.5	▲ 33.4	▲ 13.3	▲ 47.0	▲ 43.8
受 注 単 価	▲ 20.0	▲ 11.7	▲ 13.3	0.0	▲ 5.8	▲ 6.6	▲ 12.5	▲ 11.7	▲ 14.3	▲ 26.6	0.0	▲ 17.6	▲ 18.7
営 業 利 益	▲ 53.3	▲ 23.5	▲ 6.7	▲ 21.4	▲ 5.9	▲ 13.4	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 13.4	▲ 35.3	▲ 37.5
見 通 し	0.0	0.0	▲ 6.7	▲ 7.2	▲ 11.8	0.0	▲ 18.8	▲ 11.8	0.0	▲ 6.6	0.0	▲ 5.9	▲ 6.3

<経営者の目・見方・e t c>

- 管工事
 - ・今年はいつもより受注が悪い。全般的に見通しが立たない状況。住宅産業は良くなるかもしれない。
- 建築工事
 - ・公共受注が少ない。3月以降が心配である。
 - ・職人が不足している。
 - ・輸入木材が値上がりしている。フラット35(長期固定金利の住宅ローン)の史上最低金利、省エネ住宅エコポイントなどについて注視したい。
- 石材
 - ・消費税増税の影響を感じる。
- 鉄工
 - ・6月くらいまでは溢れる程の物件があるが、9月以降はそれほどではなさそうだ。
- 電気工事
 - ・これといった新規事業がない。また、受注工事が全くない状態が続いている。
- 土木工事
 - ・昨年と違い、現在の受注工事は殆ど3月で完了。土木工事業界は4月以後、繰越工事が全くないようだ。

2. 製造業



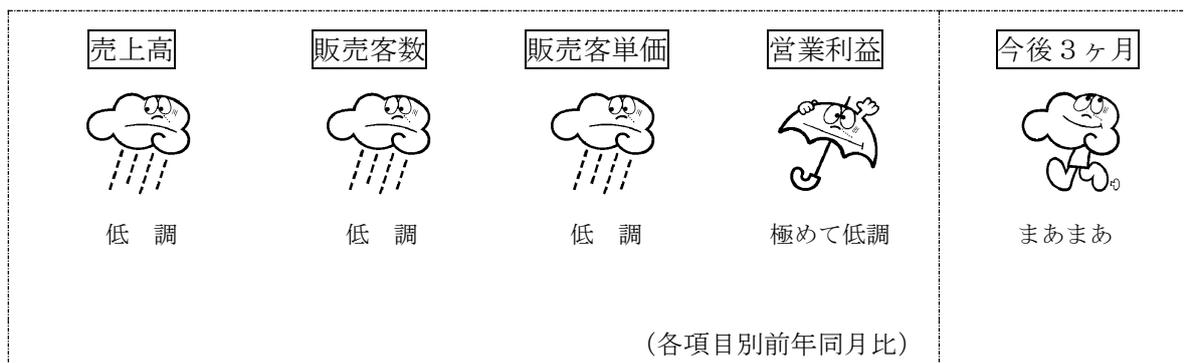
【項目別DIの推移】

	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
売上高	12.5	▲ 35.0	0.0	▲ 45.5	▲ 50.0	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 28.6	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 33.3	▲ 19.1	▲ 30.0
受注量	▲ 4.1	▲ 30.0	▲ 5.0	▲ 40.9	▲ 45.8	▲ 25.0	▲ 19.1	▲ 23.8	▲ 10.5	▲ 23.5	▲ 44.5	▲ 19.0	▲ 35.0
受注単価	▲ 20.8	▲ 45.0	▲ 30.0	▲ 22.8	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 23.8	▲ 23.8	▲ 31.6	▲ 23.5	▲ 22.2	▲ 23.8	▲ 20.0
営業利益	▲ 8.3	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 40.9	▲ 41.6	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 38.1	▲ 26.3	▲ 23.5	▲ 50.0	▲ 28.6	▲ 35.0
見通し	0.0	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 8.3	▲ 5.0	▲ 9.5	▲ 23.8	▲ 10.5	▲ 11.7	0.0	0.0	▲ 5.0

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|-------|---|
| 印刷 | ・昨年の3月は駆け込み受注がかなりあったが、今年はその分がない。 |
| 菓子 | ・1月は昨年以上に良くない。2月は頑張りたい。 |
| 金属塗装 | ・昨年と比べると売上は増えているが、利益は伸びていない。受注単価が下がっている事と、材料費、燃料費が円安の為か値上がりしている為。 |
| 紙器 | ・1月は良かったが、受注量が減っているため、今期は全体的に良くはなさそうだ。 |
| 食品・飲料 | ・食品の値上げが多発している。 |
| 漬物・味噌 | ・漬物関係の売上が10%以上ダウンした。 |

3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
売上高	20.0	▲ 20.0	50.0	▲ 23.5	▲ 25.0	5.9	▲ 12.5	▲ 5.9	0.0	▲ 12.5	▲ 43.8	▲ 31.3	▲ 25.0
販売客数	▲ 13.3	▲ 33.3	12.5	▲ 5.8	▲ 25.0	▲ 11.7	▲ 12.5	▲ 23.5	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 18.7	▲ 12.5	▲ 18.7
販売客単価	0.0	▲ 20.0	▲ 6.2	▲ 11.7	▲ 6.3	▲ 17.6	▲ 25.0	▲ 17.6	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 12.5	▲ 18.8	▲ 18.7
営業利益	20.0	▲ 40.0	18.8	▲ 23.6	▲ 31.3	▲ 11.7	▲ 18.7	0.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 56.3	▲ 62.5	▲ 37.5
見通し	▲ 13.3	▲ 26.7	▲ 50.0	17.6	0.0	5.9	▲ 6.2	▲ 11.8	0.0	0.0	▲ 6.3	▲ 12.5	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

機械工具

・客先の景気動向があまり良くなく、動きが悪くなってきている。

金属製品

・土木、建築関係は、年度末まで活発な動きが続くと思われる。大手商社、ゼネコンでは夏までの商談が行われており、地方へ枠取りの話が下りてきている。

食品総合

・3月から食品メーカーの値上げラッシュが始まり、今後の動きが気になる。

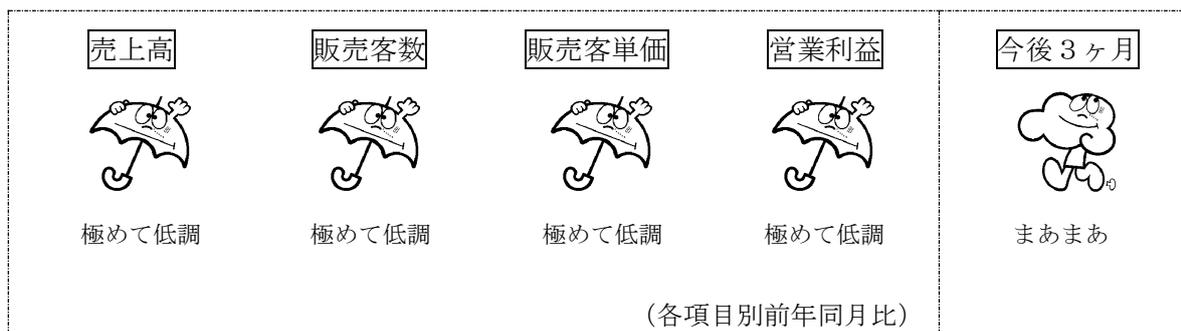
青果

・野菜は低温による生育遅れから入荷が伸びず、年末から続く高値スタートとなったが、育成回復の兆しと高値疲れから下降気配となり、全体では前年並で終了。果実については、みかんを中心に品薄感から引き合いが強い。また、いちごについても入荷が増えず、入荷減、単価高で終了した。

土産品

・長野県内及び松本地区は低迷しているが、新製品の大幅投入により売上実績は好調である。

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
売上高	▲ 4.8	▲ 23.8	26.1	▲ 40.9	▲ 38.1	▲ 24.0	▲ 29.2	▲ 7.7	▲ 37.0	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 50.0	▲ 48.3
販売客数	▲ 14.3	▲ 42.8	13.1	▲ 59.1	▲ 42.8	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 44.5	▲ 42.4	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 41.4
販売客単価	▲ 42.9	▲ 19.1	0.0	▲ 18.2	▲ 4.8	▲ 4.0	▲ 8.4	▲ 11.5	▲ 33.3	▲ 11.5	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 31.1
営業利益	▲ 23.9	▲ 28.6	4.4	▲ 40.9	▲ 19.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 40.7	▲ 27.0	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 34.5
見通し	▲ 9.5	▲ 19.0	▲ 73.9	▲ 4.5	▲ 14.2	▲ 8.0	4.1	▲ 3.8	▲ 3.7	▲ 7.7	0.0	▲ 8.3	6.9

<経営者の目・見方・etc>

ガラスサッシ

・住宅エコポイントが復活したが、今のところ問い合わせなどがなく、あまり需要がないのではないかと心配している。

ショッピングセンター

・年末年始については前年を若干下回る客数で終了。元旦の福袋に関しては堅調であったが、セールに関してはヤング層の反応が悪く、消費はまだ明るい兆しが見えない。

タイヤ

・車検台数が3月に増えるため、向こう3ヶ月の見通しは上昇しそうだ。

パン

・厳しい中にもイベントなどで購買意欲を高めることができ、なんとか前年を超えることができた。

・天候が悪く、寒かった為、客数が伸びなかった。

印章

・低温の連続で街中にはお客様の足音が聞こえてこない毎日が続く。外国人観光客の姿は多く見られるが、売上にはなかなか繋がらない。卒業、就職、入学の時節になってきたが、手応えが無い。

・松本あめ市と氷彫フェスティバルの同日開催が行われ、歩行者天国は賑わっていた。市街地の降雪は大したことなく済み、良かった。

化粧品

・財布の紐が堅い。情報は欲しいが、購入迄に必要な方が多い。

観光物産

・冬季休業中だが、団体の食事は引き受けている。しかし、日本人の団体旅行は0。台湾の団体客が数件あったのみである。

自動車

・これから良い時期を迎えるが、昨年が良すぎた。

住宅機器

・1月から動きが止まってしまった。2月も同じ状況になりそうだ。

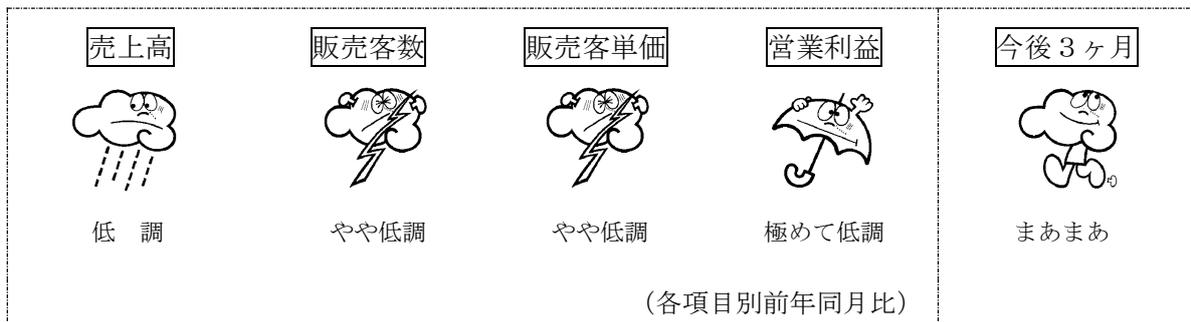
書籍

・今まで以上に厳しい売上だった。雪が降ると来客も少なく、なす術がないとさえ感じる。入園、入学シーズンに焦点を当てて、商戦を考えて頑張るのみ。

・年末年始の休日が長かったため、お金を使ってしまったのか、休み明けからも良くない。冷え込みも続いているので、例年より冬枯れ感が強いようだ。春が待たれる。

生鮮食品	・年始と売出し中は去年より良いが、他の日々が悪く、極端である。卸売りも静かであった。
陶磁器	・穏やかなお正月であめ市までは平年通りの賑わいが続いた。気温は低めに推移し、3週続けて週の後半に降雪があったが、幸いなことに昨年のような惨事にはならなかった。
味噌・しょうゆ	・昨年から大豆価格が高く、仕込が始まった1月も高値の地大豆を仕入れた。原価が上がり、大変だ。
薬局	・行事は好天で良かったが、雪が降ると客足に大きく影響する。

5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
売上高	▲44.5	▲91.7	▲45.4	10.0	0.0	▲50.0	▲10.0	▲44.4	▲50.0	▲20.0	▲30.0	0.0	▲22.2
販売客数	▲44.5	▲91.7	▲45.4	10.0	▲16.6	▲50.0	▲10.0	▲33.3	▲50.0	▲20.0	▲30.0	0.0	▲11.1
販売客単価	▲33.3	▲66.7	▲45.5	0.0	▲8.3	▲25.0	▲10.0	▲22.2	▲40.0	▲30.0	▲50.0	▲18.2	▲11.1
営業利益	▲44.5	▲100.0	▲54.5	0.0	▲16.6	▲50.0	▲20.0	▲44.4	▲60.0	▲30.0	▲40.0	▲36.4	▲33.3
見通し	22.2	16.6	▲18.2	30.0	▲16.7	8.3	0.0	▲22.2	▲50.0	▲40.0	▲30.0	▲27.3	0.0

<経営者の目・見方・etc>

カレー	・雪が降り、解けないうちにまた次の雪が降ったが、心配していたより人の動きがあった。あめ市には多くの人出があり、良かった。
そば	・正月3日間はたくさんの人出で賑わったが、その後が続かない。今年も厳しい年になるのではないかと心配である。
郷土料理	・新年会等は例年のお客様に支えられた。物価の上昇、年金の減少、外食を控える傾向は免れない昨今、観光客もますます減少するこの時期はきびしく不安である。
仕出し料理	・食品の異物混入の報道が続き、より注意深く衛生管理に取り組んでいる。
寿司	・今の時期に発生するノロウイルスによる食中毒事故があまり発生せず、騒がれずに済んだことは幸いだった。他の業種にも色々な悩みがあると思うが、飲食業(特に生物を扱うすし店)は夏期(梅雨時期)と同じくらい神経を使う時期である。
料理	・昨年同時期にテレビに取り上げられ好調だった為、対昨年比は減少すると思われる。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	26年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月
売上高	▲23.5	▲22.8	▲8.3	▲11.7	▲2.5	▲5.7	▲5.8	▲10.2	0.0	3.1	▲5.0	▲24.3	▲19.5
販売客数	▲29.4	▲37.2	▲8.3	▲20.6	▲2.5	▲8.6	▲11.4	▲7.7	0.0	▲21.2	▲15.0	▲21.6	▲25.0
販売客単価	▲17.7	▲8.5	▲5.6	▲14.7	▲5.0	▲8.6	▲2.8	▲5.1	▲5.4	▲6.1	▲10.0	▲5.4	▲11.1
営業利益	▲26.5	▲34.3	▲11.1	▲20.6	2.5	▲5.7	▲17.1	▲17.9	▲2.7	▲15.1	▲20.0	▲29.7	▲25.0
見通し	0.0	▲2.9	0.0	▲5.9	10.0	0.0	2.9	0.0	0.0	▲6.1	▲2.5	0.0	2.7

<経営者の目・見方・etc>

クリーニング・リネン

・工場にて生産に携わる人手不足が深刻になりつつある。

ソフトウェア

・昨年末くらいから同業者の中で引き合いが増えていると聞く。当然ながら東京への常駐案件も多いが、県内企業からの引き合いも増えているようだ。傾向として、セキュリティや要件固めの必要性から常駐になることが多いのはやむを得ないが、技術者(SE)が不足していることが気になる。

タクシー

・昨年の実績が悪かったので、前年比は上がっているが、好転したとは見られない。オート燃料価格は今月も下がっている。

ペットサービス

・1月はホテル利用と物販の売上が良く、前年より売上が増加した。

温泉旅館

・昨年12月に続き、大幅な落ち込みとなってしまった。地元の新年会も少なく、県外客、外国人観光客も減少した。昨年の9月から5ヶ月連続の前年同月割れを、なんとかストップさせないといけない。2月以降に期待してベストプランを企画したい。

・全般的に悪化。打つ手見あたらず。

ホテル

・雪が多く、寒い日が続く、観光客やビジネス客が減少したように感じた。

・直接予約、インターネット予約を中心とした個人の宿泊客の動きが鈍く、伸び悩んだ。

マッサージ

・景気が良くなってきているように感じる。アベノミクスの成果かもしれない。

機械設計

・今期の大きな仕事が一段落して、次のテーマは来期になるので少し空き時間ができてしまう。

自動車整備

・原油価格が下がり、少しは安定してきたように感じるが、だからと言って景気が良い訳ではない。年度末にかけて少しでも景気が上昇するように願うばかりだ。

写真

・美容関係、呉服関係、貸衣装店までもが撮影を行っている中、成人式の写真撮影を例年並に確保できたのは良かった。

獣医

・寒い時は動物病院への来院数が少なくなる。獣医師の求人率は高く、新卒の女性獣医師も60%以上になっているため、女性の採用も多くなっている。

専門学校

・平成27年度求職者支援訓練認定規模縮小、応募者数減少が予想され、業績は下降しそうだ。